

2015年 ショパン・コンクール第2位!!! ツィメルマン賞(ソナタ賞)受賞

# シャルル・リシャール=アムラン ピアノ・リサイタル

オール・ショパン・プログラム(予定曲目)

ノクターン 口長調 op.62-1

Nocturne in B Major, op.62-1

バラード 第3番 変イ長調 op.47

Ballade No.3 in A-flat Major, op.47

幻想ポロネーズ 変イ長調 op.61

Polonaise-Fantaisie in A-flat Major, op.61

序奏とロンド 変ホ長調 op.16

Introduction and Ronde in E-flat Major, op.16

4つのマズルカ op.33

4 Mazurkas op.33

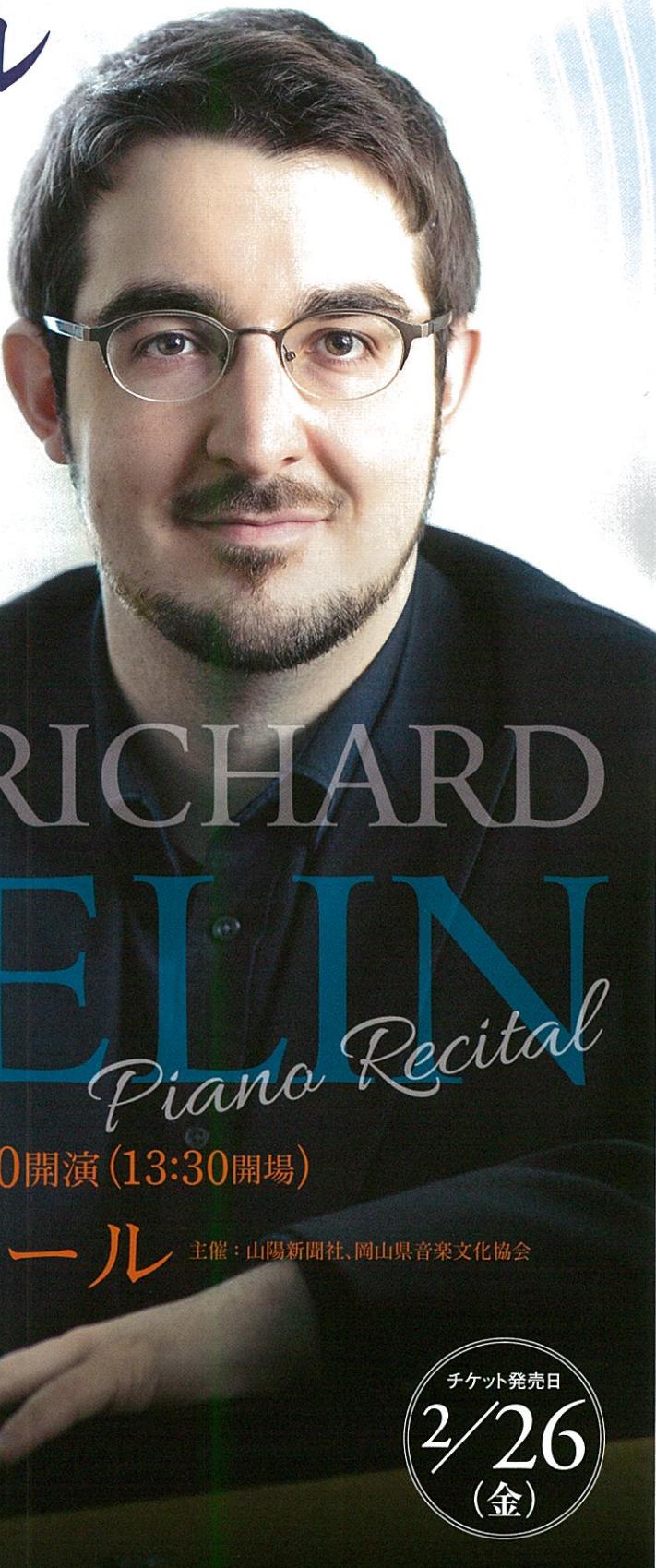
英雄ポロネーズ 変イ長調 op.53

Polonaise No.6 "Héroïque" in A-flat Major, op.53

ソナタ 第3番 口短調 op.58

Sonata No.3 in B minor, op.58

未来の巨匠、  
日本リサイタル・デビュー



## CHARLES RICHARD HAMELIN *Piano Recital*

2016 5月22日(日) 14:00開演(13:30開場)

岡山シンフォニーホール

主催: 山陽新聞社、岡山県音楽文化協会

チケット発売日  
**2/26**  
(金)

入場料[税込] S席/4,800円 A席/3,500円 [音協会員/S席 4,500円 A席 3,200円]

プレイガード [岡山] 岡山音協、天満屋バスステーションチケットセンター、ぎんざや、岡山シンフォニーホールチケットセンター、岡山市民会館、山陽新聞社サービスセンター

[倉敷] インディスク(倉敷天満屋4F)

[その他] チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:289-554) ローソンチケット 0570-084-006 (Lコード:65693)

\*チケットのお支払いは、郵便振替でもご利用いただけます。(振込先番号:01200-4-11083)

# シャルル・リシャール＝アムランへの期待

青柳いづみこ（ピアニスト・文筆家）

2015年のショパン・コンクールで第2位入賞を果たし、ポーランドの聴衆から「ティディベア」と呼ばれて愛されたシャルル・リシャール＝アムランはカナダのピアニスト。2014年のモントリオール国際コンクールで第2位に入賞しているが、競う場よりもコンサート向きのピアニストだ。

コンクールではこだわりの解釈を見せる弾き手が多くいた中、ノクターン作品62-1などでアムランが見せる自然な感情の流れ、温かな音楽は聴き手の心をなごませた。かといってオリジナリティがないわけではない。たとえば『バラード第3番』のメロディとリズムの絶妙のバランスなど巧妙な計算の賜物かもしれないが、それを感じさせない。ペダリングは調律師も驚いたほどで、左のペダルを右と同じぐらい駆使してうつりするような色彩の綾をつくり出す。

『序奏とロンド』は第3次予選進出のキメ手となった演奏。この人が弾くと、ショパン特有の調性の変遷と位置関係が明確にわかるので心地よい。その上で、幸せになったりメランコリックになったり、刻々と気分を変化させる。ソロ活動より室内楽に力を入れてきたアムランの「音楽力」が存分に発揮されていると見た。

どちらかというとチャーミングなピアニストという印象が強かったアムランが本領を発揮したのは、第3次予選。『マズルカ作品33』の各曲は、速度の変化ではなくて音そのものに語らせるアプローチ。とりわけラストの和音には、人生のすべてがこめられているような深みがあった。

すぐれたソナタの弾き手に与えられるツィメルマン賞を得た『ソナタ第3番』は圧巻だった。全体の中で起承転結のバランスをとる手腕には舌を巻く。右手がたっぷり歌っても、超快速で走りまわっても、ジャストのタイミングで左手がはいる。これまで軽くあしらってきた「劇的要素」にも真正面から立ち向かい、フィナーレの6連音符はうなりをあげ、審査員まで興奮の渦に巻き込んだ。ぬいぐるみではなく、本物の「熊」だと思った次第。

アムランの穏やかな笑顔、静かなまなざしの奥には本物の音楽への情熱がたぎっている。来日演奏会に大いに期待を寄せたい。

シャルル・リシャール＝アムラン 2015年ショパン国際コンクール第2位。クリスチャン・ツィメルマン賞(ソナタ・ベスト・パフォーマンス賞)を同時に受賞したシャルル・リシャール＝アムラン。2014年、モントリオール国際音楽コンクール第2位、ソウル国際音楽コンクール第3位、同時にペートーヴェンのソナタに対する特別賞受賞。2015年トロントのウーマンズ・ミュージカルクラブより、特別なキャリアアップ賞を受賞。

プロフィール  
ポール・サルドゥレスク、サラ・ライモン、ボリス・ベルマンに師事し、マックギル大学を2011年に卒業。2013年イエール大学でマスター課程を修了し、両大学から全面的な奨学金を受けた。現在モントリオール音楽院にて、アンドレ・ラプラントのもと研鑽を積んでいる。

2015年9月彼のファーストCD、ショパン後期の作品を収録したものがリリースされている。

これまでにワルシャワ・フィル、モントリオール・フィル、ソウル・フィル、イ・ムジチ・デ・モントリオール等と共に演。

楽器と一体化して紡ぎだされる温かい音、謙虚で成熟度の高い演奏は、早期より世界中のメディアから絶賛されている。

アルゲリッチをはじめとした  
名ピアニスト達から  
最高の評価を獲得！

